

グリーンノート



No. 62 6月号 発行日 平成23年6月20日

今まで緑のコーディネーター通信として発行していましたが「グリーンノート」を今月から、緑の活動団体にもお届けします。お互い情報交換を行い、ネットワークを広げ充実した活動に向けて役立てていただけたら幸いです。緑の活動団体の皆さまも、活動報告やお知らせ等がありましたらどんどん投稿してください。最初に登場する緑の活動団体は「泉東町内会ひょうたん池花壇愛護同好会」です。4ページをご覧ください。

目次

- ・ 苔玉作り講座 1
- ・ 花いっぱいまちづくり講座 2
- ・ 緑のコーディネーター広報チラシ作成
- ・ 台北国際花博覧会 いけばなコンクール参加
- ・ マリーゴールドの種の提供 3
- ・ 緑の活動団体紹介 泉東町内会ひょうたん池花壇愛護同好会 4
- ・ 読売新聞かわらばん 紹介記事 5
- ・ 福博花しるべ チェルリップ 球根配布
- ・ 地域の森（花）づくり活動支援事業受付
- ・ 朝顔のカーテンプロジェクト2011 「緑のカーテンコンテスト」の実施 6
- ・ 福岡市植物園からのお知らせ

苔玉作り講座 (活動報告)

～誰でも簡単に作れ心癒される身近なガーデニング～

【日 時】5月20日(金) 11:00～12:00
 【場 所】福岡国際センター2階(博多区築港本町)
 【講 師】緑のコーディネーター 米倉 治美



去る5月20・21・22日の3日間、庭づくりの情報・ヒントが満載の～趣味と癒しのガーデンライフ～『エクステリアフェア2011in九州』が開催されました。

会場内に設けられたワークショップで、来場者を対象に多彩な講座が繰り広げられました。私は初日のコケ玉講座を担当させていただきました。最近の苔玉ブームもあり、あっという間に定員の20人になり、関係者が慌てて受け付けを締め切らせていただくという、嬉しい誤算もありました。

1時間と言う限られた中での講座でしたが、皆さんとても手際よく上手にできていました。「楽しかった」「これから水遣りをしながら成長を楽しみたいと思います」。出来上がった苔玉を皆さん大事そうに持って帰られていました。

講座終了後、「苔玉を作りたい」と一組の高齢のご夫婦が参加してくださいました。奥さまが苔玉を作られるのを傍で優しいまなざしで見守るご主人。出来上がった苔玉の管理の説明に「これからの楽しみが増えました」とニコニコ。きっと苔玉談議をしながら夫婦の会話が弾むことでしょう。

グリーンノートのバックナンバーは協会ホームページに掲載しています。

<http://www.midorimachi.jp>

(発行元/事務局)

福岡市住宅都市局
 公園緑地部緑化推進課
 TEL 7 1 1 - 4 4 2 4
 FAX 7 3 3 - 5 5 9 0
 (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
 メールアドレス:
anjyu.t@midorimachi.jp
 TEL 8 2 2 - 5 8 3 2
 FAX 8 2 2 - 5 8 4 8



花いっぱいのもちづくり講座 (活動報告)

《緑のコーディネーター 角 正信さん》

【日 時】6月10日(金) 10:00~12:00

【場 所】早良公民館

福岡市早良区早良校区は、名称から早良の中心と思われがちですが、比較的新しい校区です。以前は田んぼであったところに住宅地が建ち新たに出来た校区です。6月10日に「花いっぱいのもちづくり講座」の講師として招かれました。

講座の冒頭に、地域の魅力や問題・課題点を聞きました。緑の環境は自慢できるが、道路沿いなどは殺風景であったり、マナーの問題もあるとのこと。確かに、目を上げれば山の緑に囲まれ美しいのですが、足元は福岡市内から佐賀へ向かう国道沿いに、住宅と工場、病院、スーパーなどが並んでいます。街路樹は植えられているものの根元は、雑草で覆われています。花や緑は少なく、交通の通過地点になっています。住宅地は、新たに転入した人が大半で、昔からの郷土意識は薄く、住民意識もさほど密接ではないところです。そこで公民館に集う有志の人たちは、

「花いっぱいの活動を広げたい」との熱意をもっておられます。四季を通じて花々を、まず一軒一軒の庭から地域へ広げたい。そのためにはどのように進めたらいいのか模索されています。各地域で先進的な取り組み事例を紹介し、ボランティア活動が率先する重要性を映像で見いただきました。

花好き、世話好きの有志が少数でも、グループづくりと定期的な集まりで継続的な活動が大切でしょう。家の周りから、近くの公園や学校、病院、公民館など公共的な場所との連携で、活動の場を確保することから始められそうです。街路樹のところは、高木低木と草花の組合せる工夫など、いろいろな可能性が挙げられました。花や緑を増やすことで、安心・安全に生活できるまちづくりが出来るでしょう。これが、早良区が新・緑の基本計画で掲げる「ひと・みず・みどりが光り輝くふれあいと交流のあるまち」づくりを、校区で担うことになるでしょう。今後に期待したいと思います。



16名の参加がありました



早良校区の魅力等を聞きました



早良公民館からのチラシです

緑のコーディネーター広報チラシを作成しました！

今年も「緑のコーディネーター広報チラシ」を作成しました。緑のコーディネーター制度について紹介しています。「私たちこんな活動をしています」「こんなときご相談ください」等、地域活動や講座等でご活用ください。

今回は1部だけ送付していますが、追加が必要な方は、緑のもちづくり協会 安重(あんじゅう)までご連絡ください。連絡先は3ページ又は5ページをご覧ください。

※緑の活動団体の方にも送付していますので、『緑のコーディネーター制度』を理解していただき、「みどり」のネットワークを広げていただければと思います。

台北国際花博博覧会

いけばなコンクール に参加して

《緑のコーディネーター 瀬口 美津子さん》

昨年(2010年)の11月から4月まで台湾で開催された「台北国際花博覧会」の会期中、2011年2月19日から9日間「池坊いけばなコンクール・台湾大会」が開催されました。

日本をはじめとして台湾、シンガポール、ドイツ、アメリカなど10ヶ国63名が参加し、日頃の成果を競い合いました。

会場に入る前は緊張でドキドキしていましたが、コンクールの席では意外にも緊張は解け、平常心になれ落ち着いた気持ちで、花を活けることができ、なんとか自分の思うように仕上げられたかな…との思いで会場を後にしました。

翌日の表彰式で私の名前が「佳作」として中国語で発表された時には、まさかと思いましたが、重ねて日本語で繰り返された時には、本当に驚きました。

審査の講評で「柳が自然で素直に使われ好感が持てます。表情のある赤椿との出会いも素敵です。」との言葉を頂き、私にとっては嬉しい思い出となりました。また、日本からの参加者で唯一の入賞だったことも、今後の活動の力になりそうです。

ちなみに、この期間中に開催された花展の会場には、なんと25万人以上の方々が訪れ、休日には入口で長蛇の列ができ、入場制限がなされ、2時間待ちの状況で、熱心に「日本のいけばな」を鑑賞されたとのことでした。

「花博覧会」や「いけばなの展示」の盛況を見て『花』は世界の共通語だとの思いを深くすると共に、とても良い経験をしました。



「佳作」に入賞した瀬口さんの作品



会場入口

マリーゴールドの種の提供 ~鳥飼花クラブ~

緑の活動団体の「鳥飼花クラブ」から“マリーゴールド”の種の提供がありました。昨年(2010年)の種を取って、今年種から育てたのが右下の写真です。

まきどきは4月から8月ですので、まだ大丈夫です。必要な方は下記までご連絡ください。



昨年採取したマリーゴールドの種



【問い合わせ先】

(公財)福岡市緑のまちづくり協会
みどり課 安重(あんじゅう)

TEL: 822-5832

FAX: 822-5848

Eメール: anjyu.t@midorimachi.jp



緑の活動団体紹介
～泉東町内会ひょうたん池花壇愛護同好会～

【場 所】 西区泉2丁目5（中牟田池）

【会員数】 18名

ひょうたん池（中牟田池）の整備は、福岡市がすすめる「農業用水機能を維持しながら日常生活の中で自然を味わえる親水性のある水辺空間」づくりの一環として平成16年に完成し、愛称「ひょうたん池花クラブ」として発足しました。

大きな“せんだん”の木がシンボルになっていて、木陰を作っています。池の周りには“しょうぶ”“つつじ”などが植えられています。メインの花壇は2ヶ所。いつも綺麗に手入れされています。

活動日は原則として毎週金曜日の午前中で、いつも10～12名の会員の方が参加されています。



池のそばにある大きな“せんだん”の木。5月には藤色の花が咲きます。



会員は、皆さんご近所の方です。定例の作業日には多くの方が参加されます。



昨年「みどりの愛護」功労者 国土交通大臣表彰を受賞され 記念樹として“ヤマザクラ”を植えました。

6月4日（土）は町内のエコサークル「ベスタ」と「ひょうたん池花クラブ」の共催で、第5回ひょうたん池まつりが開催されました。

会員の松本さんにお話を伺いました。

「おまつりをするきっかけは、地元の方にひょうたん池の良さを知ってもらおう事と、活動の資金を作るためでした。実現までには色々苦労がありましたが、1つのパターンが決まると後は順調にいきます。おまつりがきっかけで、近所でも普段会わない方とも顔を合わせ親しみがわいてくるし、一体感が生まれます。」

「ボランティアをやっていて一番うれしい事は『いつもありがとう』『きれいになりましたね』と、声をかけてもらう事です。」

月の最終金曜日の作業後は、ご近所の独居老人を招いて“せんだん”の木の下で、持ち寄りのお茶とお菓子でおしゃべり会が行われます。あまり外に出る機会がないお年寄りの憩いの場になっています。



入口のジャブジャブ池で、子ども達は水遊びを楽しんでいます。



池の周りには“しょうぶ”が咲き彩りを添えています。



模擬店も出て大勢の方が訪れ、大盛況でした。

“読売新聞福岡西かわらばん” に紹介記事が掲載されました。

3月26日から4月3日まで、福岡市役所西側広場で開催されました「福博花しるべ」で、4月2日に緑のコーディネーター体験講座の“フラワーアレンジメント講座”を小寺福代さんに担当してもらいました。

明るく丁寧に指導されていた小寺さんは、当日会場を訪れていた読売新聞の方の目に止まり、改めて取材の申し出があり、この度“読売新聞福岡西かわらばん”に掲載されました。

★記事の一部を紹介いたします★

小寺さんが指導で大切にしているのは、花は生きものなので、大事に扱うことを挙げ、「生け花は花を仏様に供える供花（くげ）からきている。その気持ちを大切にしている」と話す。

「きっかけは何でもいいので、花とかかわりあってほしい。生け花に限らず、庭いじりでもプランター栽培でも、植物とかかわること、エネルギーがもらえる」という小寺さん。「今の時代はやさしさや思いやり、感謝の気持ちが必要。私たちは花を通して、そういうことを伝えており、もっと多くの人に伝えたい。生涯現役で頑張りたいと思っているので、体力もつけないと」と笑顔になった。



小寺さん（中央）が講師を務める西新公民館教室のみなさんと一緒に

福博花しるべ チューリップ球根配布

天神中央公園および清流公園に植えていたチューリップの花が終わり、46団体に22,070球の球根を配布いたしました。

天神中央公園は昨年11月28日に市民ボランティアと緑のコーディネーターにより、球根の植え付けを行いました。

※来年花が咲いたら写真などで下記までお知らせください。

連絡先：福岡市住宅都市局公園緑地部緑化推進課

〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号

TEL 711-4424 FAX 733-5590

E-mail: ryokkasuishin.HUPB@city.fukuoka.lg.jp



5月20日（金）舞鶴公園で行われた配布の様子

“地域の森（花）づくり” 活動支援事業 下半期受付

当協会が推進しています“地域の森（花）づくり活動支援事業”を広く活用していただけるよう、下半期の認定団体の申請を下記のとおり受け付けます。

**申請期間は
7月1日（金）から7月29日（金）までです。**

詳しくは下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

（公財）福岡市緑のまちづくり協会

みどり課 安重（あんじゅう）

TEL：822-5832 FAX：822-5848

Eメール：anjyu.t@midorimachi.jp



地域の花づくり団体
「香椎来い」

朝顔のカーテンプロジェクト2011

「緑のカーテンコンテスト」の実施について

「朝顔のカーテンプロジェクト」は地球温暖化対策や、花や緑による安らぎの創出を目的に取り組んできました。今年は、震災の影響で市民の省エネ意識が高まっているなか、「緑のカーテン」の輪が広がっています。

夏に向けた省エネ対策を楽しく行うため、多くの市民や事業者に参加していただける「緑のカーテンコンテスト」を実施いたします。ふるってご参加ください。

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

【問合わせ先】

■環境局温暖化対策部温暖化対策課（担当 有馬・佐藤 TEL：711-4282）

■住宅都市局公園緑地部緑化推進課（担当 佐藤・野田 TEL：711-4424）

「こんな植物でカーテンを作っています」「こんなに育ちました」など・・緑のカーテン情報を写真（データ）で送ってください。まちづくり協会のホームページで紹介させていただきます。

※写真は 緑のまちづくり協会 安重まで E-mail：anjyu.t@midorimachi.jp

緑のまちづくり協会も取り組んでいます。

【舞鶴公園】【東平尾公園】の他に、新たな取り組みとして駐車場や自動販売機にもアサガオのプランターを設置しました。

警固公園の自動販売機にも設置していますので、天神にお出かけの際は、やさしく見守ってください。グリップが目印です♪



福岡市植物園からのお知らせ（情報提供）



こんにちは 福岡市植物園です。

植物園では6月12日、13日に第24回月下美人鑑賞会を行いました。暗くなると開花し一夜で萎んでしまう月下美人の優雅な花とその香りに、参加された方々も感動している様子でした。

月下美人はこれからも数回花をつけます。8月の毎週土曜日に18時～21時まで開園する「夜の動植物園」でタイミングがよければ再び鑑賞することができるかもしれません。



月下美人の花



ボランティアによるガイド

◎体験教室◎ 往復はがき又は植物園HPよりお申し込みください。

親子体験教室 ～葉脈標本作り～ 7/23（※切7/9）

ナンテンなどを使って、葉脈標本を作ります。

☆植物園ホームページ <http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>